

2022年度保育所における自己点検・自己評価

協立こぐま保育園
2023年3月記入

評価について
ABCDの4段階評価です。A:たいへんよい B:よい C:一部検討を要する D:改善を要する
評価対象期間
2022年4月1日～2023年2月28日

1. 保育理念

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
保育理念、保育目標を理解し正しく説明することができる。		○			保育方針や保育目標を全職員が目に見えるように掲示等の工夫をし、年度初めの会議で伝え合っている。
保育園は園目標や方針が保護者に知らせている。		○			入園時に重要事項説明書にて全員に説明。玄関に掲示している。ホームページにも保育方針を示している。4月に総会を開催することができ、対面での説明を行うことが出来た。

2. 保育計画

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
保育計画を作成し、見直しを持った保育を実施している。		○			保育計画を作成している。計画の活用や理解を全職員で深める工夫をしている。
年間計画、年間行事の見直しをしている。	○				子どもの姿から年間行事等は見直している。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策をとりながら行事の見直し変更となった。

3. 人権尊重

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる。	○				子どもの思いを大切に、子どもが理解しやすい言葉で伝える。自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取るよう努力している。名前を呼び捨てにしない。

4. 個人情報保護

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
個人情報の扱いについて入園時等で説明されている。	○				守秘義務の周知徹底は全体職員会議での再確認や個人情報保護に関する誓約書などで伝えている。書類等はカギのかかる場所に保管している。
業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について全職員で周知している。	○				
保護者からの相談の内容の守秘義務について全職員で周知している。	○				

5. 保育内容

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
遊びに入れない子どもや、全体の様子に気を配っている。		○			一人一人の子どもの思いを感じながら丁寧に関わるようにしている。早くしなさいとせかす言葉やいけませんなど制止の言葉を用いない保育の工夫を心掛けている。
子どもがのびのびと意見や意思が表現できるような保育が行われている。		○			子ども同士の関係を良くするような言葉がけをしている。子どもを否定するような声掛けをしない。言葉だけでなく、行動や態度から気持ちを読み取り、子どもの意思を尊重する。
遊びを通して、友達や保育士との関りが十分持てるよう配慮されている。	○				保育者自身が一緒に身体を動かしながら楽しんでいる。子ども同士の関係性を見守り、時間をかけて子どもからの発信を待ち、遊びの中で関係性が深まるように配慮している。

遊びや生活を通して人間関係が育つような配慮をしている。	○				けんかの場面では、状況を適切にとらえ、双方の思いを聞き、丁寧に対応している。自分たちの生活を自分たちですることを大切に、協力しながら作業をする場面を多くしている。
身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。	○				畑を借りて自家菜園。自然の多い山や公園での散歩。図書館や電車の利用、地域のデイサービス訪問など交流の機会を持っている。山園舎との交流で羊と触れ合ったり、虫や草花を採集する機会を持っている。
園の行事や保育の内容などが知らされている。	○				掲示板、日報、園だより、クラスだより、ブログなどを使い日々の活動を伝えている。

6. 保育環境

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
園内外が清潔で心地よい空間となっている。		○			掃除分担をし、日々清潔な環境作りをしている。ゴミが落ちていたら拾う、掃くなどの日々の掃除を徹底している。玩具の消毒を定期的に行っている。
年齢に応じた保育が提供できるような環境である。	○				年齢ごとに仕切られた保育室で落ち着いて生活できる。可動式壁を利用し、場面に適した空間を確保できている。
子どもが落ち着いて過ごせるよう、保育室の雰囲気おもちゃが工夫されている。			○		子どもたちの手の届くところに年齢にあったおもちゃを用意している。クラスごと保育室の工夫が必要。朝夕の保育の環境設定を工夫していく。

7. 特別な支援を要する子どもへの対応

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
特別な配慮が必要な場合の対応がなされている。	○				1人1人の子どもの発達状況を会議で検討し、配慮した指導計画を作成している。できない、やって等の要求にやさしく丁寧に答えている。専門機関、保護者と連携を取りながら個々にあった保育を行う。

8. 保護者支援

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
意見や要望などに対応ができている。			○		懇談会など保護者の意見を聞く機会を持っているが、保護者との子どもに対する考えの違いを感じることも多くある。意見をよく検討し、子どものために良い生活を作ることを重点に置き、要望に対応している。アンケートなど意見の出しやすい形での意見募集などしていく必要がある。
職員が子育て等、話しやすい雰囲気や態度で接している。		○			懇談会を設け、少人数で子育ての話をできる場を持っている。送迎の時間にやノートで話をしたり育児相談に随時対応している。

9. 安全対策・健康管理

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
保育中の体調への気配りや怪我等に対して配慮されている。		○			登園時保護者から口頭やノートで子どもの様子を聞き、検温、健康観察で体調を把握。活動中は事故や怪我がないように声を掛け合っている。ヒヤリハットを会議で定期的に共有する。コロナ対策として毎日の検温表を実施した。
感染症の発生状況や注意事項などが知らされている。	○				感染症発生時には掲示、口頭、クラスノートで個々に連絡をしている。
子どもの成長を把握している。		○			年2回の健康診断、毎月の身体測定をしている。職員間で結果の共有を工夫していきたい。
不審者対策を行っている。		○			年2回の不審者対応訓練、担任は非常用笛の携帯をしている。

10. 給食

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
給食が楽しく食べられるよう工夫されている。	○				見た目の工夫や旬の食材を取り入れたり、自家栽培の野菜を自分たちで調理して食べる活動をしている。おやつバイキングで好きな物、食べられる量を理解する機会を設けている。
食育を通して子どもたちが食に興味をもてるようにしている。	○				保育目標を基に年間食育計画を立て見直しを持った食育を行っている。行事に関する献立を作成し食文化を伝えている。
子どものサインを見逃さないようにしている。		○			年齢に応じた形態を給食職員と検討しながら進めている。食べることを無理強いしない。
アレルギー除去食の対応。	○				入園時と年1回アレルギー児の把握を行う。現在、給食で対応する該当園児なし。
衛生管理の徹底。	○				調理室内の衛生、掃除の徹底。手洗い、マスクの着用の徹底。コロナ対策として、園児の手洗い後の紙タオルの使用、消毒の徹底をした。

11. 地域支援

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
地域との関係が適切に保たれている。	○				日頃の挨拶。行事時の声掛け。子どもたちとの交流。
地域の子育て支援、交流。		○			育児相談に随時対応している。外部からの育児相談件数が少なかった。

12. 職員育成

内容	評価				意見・改善策
	A	B	C	D	
職員の質の向上に努めている。		○			昨年に引き続き研修を外部に受けに行く機会がなかった。オンライン研修会は個人が個別にも行い、園内で合同学習会をすることができた。保育を学んでいくこと、学んだことを共有することをコロナ対策をしながら進めていく努力をする。
社会人としてのふるまいを指導している。			○		日々の保育の中で特別に機会を設けていない。人権に関する学習会は行い、子どもへの接し方を学んでいる。